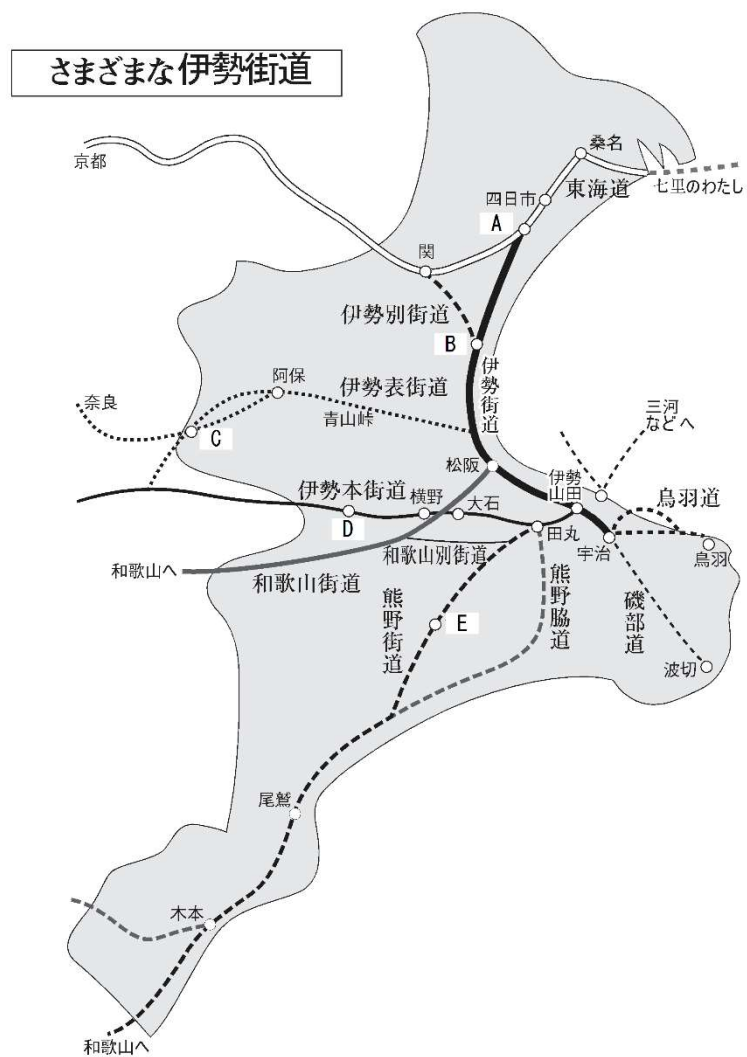


8. 次の図は、全国から伊勢をめざす街道が伊勢の国に入ってからルートと、主な中継点を示したものです。図の中継点を、それぞれの地名群から選び、記号で答えなさい。

- (61) A (イ) 関 (ロ) 日永 (ハ) 多気 (ニ) 田丸
- (62) B (イ) 名張 (ロ) 津 (ハ) 多気 (ニ) 波瀬
- (63) C (イ) 滝原 (ロ) 大石 (ハ) 名張 (ニ) 桑名
- (64) D (イ) 尾鷲 (ロ) 多気 (ハ) 名張 (ニ) 関
- (65) E (イ) 多気 (ロ) 阿保 (ハ) 日永 (ニ) 滝原



9. 次の言葉は、この地域で使われてきたものですが、私たちの生活のどのような状態を示す言葉でしょうか。下記の分類の中から、それぞれ妥当と思われるものを選んで、記号で答えなさい。

分類 (イ) 食品の状態を示す (ロ) 時間の経過を示す
(ハ) 数量、計量の状態を示す (ニ) 人間の動作を示す

- (66) ちょける (イ) (ロ) (ハ) (ニ)
- (67) ふごむ (イ) (ロ) (ハ) (ニ)
- (68) ようけ (イ) (ロ) (ハ) (ニ)
- (69) しあさって (イ) (ロ) (ハ) (ニ)

10. 市内の名所の中で、次のそれぞれの歴史上の人物とのいわれが伝えられる所はどこですか。

- (70) 源義経の家来、「伊勢三郎義盛」の居城が存在した。
(イ) 大仏山 (ロ) 朝熊山 (ハ) 鷲嶺 (ニ) 音無山
- (71) 吉川英治の小説に出てくる「宮本武蔵」が修業した。
(イ) 鷲嶺 (ロ) 三郷山 (ハ) 音無山 (ニ) 朝熊山
- (72) 堤防の決壊で住まいや田畑が流されるのを見かねた「松井孫右衛門」が人柱になった。
(イ) 五十鈴川 (ロ) 宮川 (ハ) 外城田川 (ニ) 汁谷川
- (73) 太宰府権帥に左遷された菅原道真が日頃賞愛の樹木を神宮に奉納して、冤罪の晴れるのを祈願した。
(イ) 猿田彦神社 (ロ) 離宮院跡 (ハ) 松下社 (ニ) 臥龍梅公園

- 1 1. 伊勢市に遺されている下記有名な近代建築物が建てられたのは何時ですか。その年次を下記の年から選んで記号で答えなさい。なお、建築物が移築されたり、修繕されたりしている場合には、元の建築年で答えなさい。

(74) 神宮徴古館

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (イ) 明治 20 年 (1887) | (ロ) 明治 24 年 (1891) |
| (ハ) 明治 42 年 (1909) | (ニ) 大正 12 年 (1923) |

(75) 賓日館

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (イ) 明治 20 年 (1887) | (ロ) 明治 24 年 (1891) |
| (ハ) 明治 42 年 (1909) | (ニ) 大正 12 年 (1923) |

(76) 近鉄宇治山田駅

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (イ) 明治 42 年 (1909) | (ロ) 大正 12 年 (1923) |
| (ハ) 昭和 6 年 (1931) | (ニ) 昭和 28 年 (1953) |

(77) 神宮美術館

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (イ) 明治 6 年 (1873) | (ロ) 昭和 58 年 (1983) |
| (ハ) 平成元年 (1989) | (ニ) 平成 5 年 (1993) |

- 1 2. 伊勢市駅前で、ビジターから、次の観光名所へ行くには、どのバスに乗ればよいかと尋ねられたときの答えを、バスの行き先から選んで記号で答えなさい。

(78) みずきロード

- | | |
|---------------|------------|
| (イ) 大倉うぐいす台行き | (ロ) 大湊行き |
| (ハ) 伊勢赤十字病院行き | (ニ) 伊勢病院行き |

(79) 神道博物館

- | | |
|-------------------|-----------|
| (イ) 内宮前行き (倉田山経由) | (ロ) 大湊行き |
| (ハ) 宮川中学校前行き | (ニ) 一色町行き |

(80) 県営陸上競技場

- | | |
|------------|---------------|
| (イ) 伊勢病院行き | (ロ) 宿浦行き |
| (ハ) 土路行き | (ニ) 大倉うぐいす台行き |

(81) 神宮御園

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| (イ) 今一色行き | (ロ) 一色町行き | (ハ) 浦田町行き | (ニ) 伊勢病院行 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

1 3. 市内を流れる川には別名のあるものが多い。別名はそれなりに、由来がわかるなど興味が深い。下記の設問の別名は、それぞれどの川の名か、記号で答えなさい。

(82) 昔、倭姫命が御裳の裾を濯ぎ給うたことから御裳濯（みもすそ）川という。

(イ) 宮川 (ロ) 五十鈴川 (ハ) 勢田川 (ニ) 汁谷川

(83) 伊勢神宮に献上する魚を獲ったので御贄（おんべ）川といった。

(イ) 五十鈴川 (ロ) 勢田川 (ハ) 汁谷川 (ニ) 外城田川

(84) 離宮院に沿って流れているので、離宮川と呼んだ。

(イ) 汁谷川 (ロ) 外城田川 (ハ) 宮川 (ニ) 五十鈴川

1 4. 市内の風景、景観から、次の質問について正しいと思われる回答をそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

(85) おかげ横丁を尋ねると、伊勢に縁の深い俳人の記念館があります。その俳人はどれですか。

(イ) 山口誓子 (ロ) 松尾芭蕉 (ハ) 三浦梧良 (ニ) 岩田涼菟

(86) 伊勢市駅から外宮を結ぶ参道に面して、戦前まで木造 3 階建て、4 階建ての旅館が連なっていましたが、戦災や廃業でなくなりました。唯一いま残っている旅館はどこですか。

(イ) 佐伯館 (ロ) 山田館 (ハ) 宇仁館 (ニ) 大和館

(87) 外宮前には、大正 12 年建造の旧山田郵便局電話分室の建物が残されていますが、現在何に利用されていますか。

(イ) 郷土資料館 (ロ) 真珠店 (ハ) レストラン (ニ) ブティック

15. 大湊の造船業の淵源は明らかではありませんが、周辺資料から、鎌倉時代には存在したことが十分に推測されます。木造船時代、大湊は全国有数の造船業地でした。この大湊の造船業史について、次の説明の中に、間違った文が 1 つずつありますので、それを選んで、記号で答えなさい。

(88) 中世～近世

- (イ) 大湊の造船業は、大湊が神宮の外港として、廻船の拠点であったこと、朝熊山や宮川上流に巨木を得られたことで発達した。
- (ロ) 延元 3 (1338) 年北畠顕信らが、この地で 100 艘の船を調えたと伝えられる。
- (ハ) 織田信長は石山本願寺との戦いに、九鬼嘉隆に命じ、この地で鉄甲の軍船を建造した。
- (ニ) 室町期から江戸前期にこの地で建造された船は、構造上「伊勢船」と呼ばれた。

(89) 近世

- (イ) 近代になって、大湊の造船業を担った市川、内田、強力、松崎、吉川の各造船所は、いずれも江戸期の創業である。
- (ロ) 造船業と船釘鍛冶は切っても切れない関係にあり、最盛期には、船釘、家釘鍛冶は 200 を超えたといわれる。
- (ハ) この時期、大湊では、知多半島の内海船、白子廻船など伊勢湾一帯の廻船業の造船基地として、弁才船（千石船）を建造した。
- (ニ) 神社港でも、盛んに造船が行われた。

(90) 近代

- (イ) 大湊の明治 5 (1872) 年の職業別戸数を見ると、艘戸数 463 のうち、鍛冶 111、船大工 100 となっており、造船業地であったことが明らかである。
- (ロ) 明治 10 年代になると、市川造船所や、松崎造船所では洋式船建造を試みた。
- (ハ) 明治中期には国立の造船徒弟学校ができた。
- (ニ) 明治から大正にかけて、木造漁船の建造では、全国をリードした。

1 6. 伝統工芸に関する次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選び、記号で答えなさい。

(91) 伝統工芸品には地元の最適な材料が使われますが朝熊黄楊を使用しているのはどれですか。

- (イ) ヨーヨー (ロ) ケン玉 (ハ) 提灯 (ニ) 根付

(92) 伊勢正直と呼ばれる匠が制作したものはどれですか。

- (イ) 鳴りこま (ロ) 根付 (ハ) 床几 (ニ) 煙草入

(93) お蝶殿の手車と呼ばれたみやげものを元祖とするといわれている玩具はどれですか。

- (イ) デンデンタイコ (ロ) コマ
(ハ) ヨーヨー (ニ) ケン玉

(94) 御師制度が廃止されて以後、御師龍大夫邸の跡地を製作所に行している地場産品はどれですか。

- (イ) 根付 (ロ) 神具 (ハ) 和紙 (ニ) 伊勢春慶

1 7. 伊勢のまちづくりや継続しているイベントの開始時期を振りかえると、ご遷宮の時期と重なって進められたことが多いことに驚かされます。次の事業はいつのご遷宮の時期と重なって進められましたか。回答群の記号で答えなさい。

- 回答群 (イ) 第 58 回ご遷宮：昭和 4 年 (ロ) 第 59 回ご遷宮：昭和 28 年
 (ハ) 第 60 回ご遷宮：昭和 48 年 (ニ) 第 61 回ご遷宮：平成 5 年

(95) 伊勢神宮全国奉納花火大会

(96) 県道鳥羽松阪線の整備（当時の参宮有料道路の開通）

(97) 世界タートルマラソン大会

(98) 国民体育大会

(99) 神都博覧会

(100) 参宮急行電鉄開通